

抽選キーワードを入力して、
広島県三原市の商品をもらっちゃおー！

応募期間：平成27年4月15日～平成27年7月31日

今回のキーワードは…「うきしろ」

お客様各位

この度は、商品のご注文をいただきまして誠にありがとうございました。

商品を発送させていただくにあたり、弊社のある「三原市」についても、少しでも知っていただければと思いこのチラシを同封させていただきます。お近くにお越しの機会がございましたら、是非、三原市へお立ち寄りください。

三原市は、中国地方の「**広島県**」の山陽沿岸のほぼ中央に位置し、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれたまちです。JR山陽本線、呉線。瀬戸内の島嶼部への船、また、本郷町には「広島空港」があり交通の要所にもなっています。

三原市は、戦国武将「毛利元就」の三男で、戦国時代の智将である**小早川隆景**が、17代当主となり1567年に三原へ築城し、現在の三原市の礎を築きました。小早川氏以後、福島氏、浅野氏の城下町として繁栄しました。



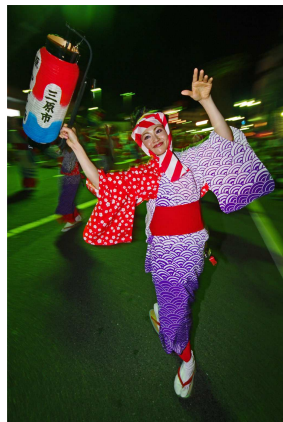
小早川隆景が築城した**三原城**は、現在は「天主台」や「舟入櫓」の一部しか残っていませんが、当時は、東西に約900m、南北に約700mもの広さがありました。中には、本丸、二之丸、三之丸があり、櫓が32と城門が14もあるとても大きな城で、その天主台

は**広島城の天守閣が6つも入る日本有数の広さ**。満潮時に城の姿が海に浮かぶように見えたことから別名「**浮城**」とも呼ばれています。また、裾を引いた扇の勾配の美しい石垣は余人では真似るべきではないといわれた「アブリ積み」という特殊な工法です。

平成29年（2017年）には、築城450年を迎えます。

この「浮城」の築城完成を祝って老若男女を問わず三味線・太鼓・笛などを打ちならし、祝酒に酔って思い思いの歌を口ずさみながら踊り出したことがはじまりと言われるのが「三原やっさ踊り」です。

その後、各地域で踊り継がれてきたものを一本化し、「やっさ祭り」として継承されています。毎年8月の第2日曜日を含む金・土・日の3日間で開催され、中国地方を代表する夏祭りとして賑わいます。



伊勢神宮を祀

る祭り「神明祭」。この信仰が全国にひろまったのは室町末期と言われ、当時9つの町組が寄り合って始めたと言われているのが「神明祭」。小早川隆景は、この祭りを大切なものとし初市として周辺の特産物の集積を図り、お酒を寄進して近郷より繰り出す景気人出の様子を見て、その年の豊凶を考量されたと言われています。その遺風は「神明市」として備後地域の春祭りのさきがけとして受け継がれ、今では毎年2月の第2日曜日を含む前3日間で500軒を越える露天商が立ち並びます。

物

店舗名：道の駅みはら神明の里

所在地：広島県三原市糸崎 4-21-1

電話：0848-63-8585

FAX：0848-63-8588

URL：[/www.shinmeinosato.jp/](http://www.shinmeinosato.jp/)



今回の賞品は...



ちよっぴり辛い!
テングソース (お好み・半とん) 2本セット



QRコードにアクセスし、チラシの上部にある「抽選キーワード」と、「ご住所・お名前・電話番号」をご登録ください。
抽選で、10名の方に、三原の特産品が当たります!!

通販で三原をPR隊 (三原商工会議所・情報化委員会) 電話：0848-62-6155